

資料提供
令和6年11月26日
課名 学事課
担当 佐々木
内線 4496
直通電話 082-513-4496

令和6年度広島県私立学校教育功労者表彰（知事表彰）について

1 概要

多年にわたり本県の私立学校教育の振興に精励し、その功績が顕著であり、他の模範と認められる者を知事が表彰する。

2 被表彰者（3名）

氏名 (年齢)	現職	功績概要
かみがき 神垣 しおり (65歳)	学校法人ノートルダム清心学園 ノートルダム清心中・高等学校 校長補佐	昭和58年にノートルダム清心中・高等学校の社会科教諭として就任して以来、41年にわたって同校の教育を支え、平成30年4月に第9代校長に就任し、ICT教育の充実等、教育情勢を的確に捉えた取り組みを着実に行った。
いわおか まさお 岩岡 正雄 (80歳)	学校法人岩岡学園 理事長	昭和43年8月に親和幼稚園の事務長として就任して以来、56年にわたって法人の健全かつ円滑な運営に努め、また、公益財団法人広島県私立幼稚園連盟等の関係団体でも計19年間理事等として活躍し、幼児教育の振興と発展に尽力した。
しがらき こうじ 信楽 晃仁 (63歳)	学校法人信楽学園 理事長 同学園ひかり幼稚園 園長	平成3年1月に学校法人信楽学園ひかり幼稚園に幼稚園教諭として就任して以来、33年にわたって地域に密着した幼児教育を展開し、また、公益財団法人広島県私立幼稚園連盟等の関係団体でも20年以上理事等として活躍し、幼児教育の振興と発展に尽力した。

※被表彰者の功績概要については、別紙を参照してください。

3 表彰式

(1) 日時 令和6年11月29日（金）10:30から

(2) 場所 広島県庁北館2階 第一応接室
(広島市中区基町10番52号)

(3) 式次第

- ア 開会の辞
- イ 知事より表彰状の授与
- ウ 知事よりお祝いのことば
- エ 閉会の辞
- オ 記念撮影

【 受 賞 者 】



学校法人ノートルダム清心学園
ノートルダム清心中・高等学校校長補佐
神垣 しおり



学校法人岩岡学園理事長
岩岡 正雄



学校法人信楽学園理事長
同学園ひかり幼稚園園長
信楽 晃仁

令和6年度広島県私立学校教育功労者表彰

学事課

被候補者氏名 (年齢)	かみがき 神垣 しおり (65歳)
職	学校法人ノートルダム清心学園 ノートルダム清心中・高等学校 校長補佐
功績概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 神垣氏は昭和58年にノートルダム清心中・高等学校の社会科教諭として就任して以来、41年にわたって同校の教育を支え、先導してきました。 ○ 教頭時代には、平成30年2月に竣工したノートルダムホールの最終的な設計・施工に関し、学校の意見を取りまとめ、生徒からも喜ばれる新校舎を完成させるとともに、本格使用開始に際し、利用ルール、建物管理ルールを先頭に立って取りまとめた。 ○ 前任の今崎校長から推挙され、平成30年4月に第9代校長に就任し、カトリック学校として、建学の精神「心を清くし愛の人であれ」をすべての教育活動の基本に置き、全人教育を目指した教育活動の充実に努めてきた。 ○ 生徒らが持っている個性・可能性をしっかりと引き出していくため、教職員の資質向上に努め、スタディサプリ等の導入や生徒一人一台のiPadの実現、校内のネットワークの整備を行い、ICT教育の充実に努めた。 ○ 将来に対応できる学校教育の在り方を研究し、広島大学WVLコンソーシアム連携校の認定に貢献した。グローバル教育プログラムを実施するとともに、留学生受け入れやアメリカの姉妹校のSTEMシンポジウムへの生徒派遣を行うなど国際交流事業に力を入れた。その他、新制服やスラックスの導入、iPadの持ち運びを前提とした制鞆の導入など教育情勢を的確に捉えた取り組みを着実にいった。 ○ 新型コロナウイルス禍においては、率先して情報収集を行うとともに、臨時休校後の段階的な登校開始、学校行事の中止・延期・見直し、インターネットを活用した授業や課題の配信など感染対策を最大限配慮しながら適時的確な対応を指示し、学校生活、生徒への影響を最小限に留めた。 <p>(学校法人所在地) 岡山県岡山市北区伊福町二丁目16-9</p>

令和6年度広島県私立学校教育功労者表彰

学事課

被候補者氏名 (年齢)	いわおか まさお 岩岡 正雄 (80歳)
職	学校法人岩岡学園理事長
功績概要	<p>○ 岩岡氏は、昭和43年8月に個人立親和幼稚園（昭和59年に学校法人化した。）の事務長として就任し、以来、副園長、園長を経て、現在は理事長として、56年にわたって幼児教育の普及及び法人の健全かつ円滑な運営に携わっている。</p> <p>○ 原爆後の荒廃した広島に生まれ育つ子どもたちを目の当たりにし、教育の必要性や幼児教育の重要性を強く感じた実父により創設された同学園の学校法人化と認定こども園への移行を支えてきた。</p> <p>○ 創設者が掲げた理念「伸び伸びした子・たくましい子・挨拶のできる子」を基に、前職（公認会計士）の強みを生かし、事務長として法人の健全かつ円滑な運営に努め、自園の職員には幼児教育の重要性を伝えてきた。</p> <p>○ 現場で子どもたちの本質や保護者の実態に触れる中で、幼児教育の重要性を深く感じ、将来を担う子どもたちへの責任を重く受け止め、保護者への支援の大切さを感じ、その支援にも努めている。</p> <p>○ 時代とともに社会から求められる乳児期からの教育・保育の必要性を鑑み、同園を認定こども園へ移行することで法人の健全かつ円滑な運営とともに、乳幼児期全ての子どもたちの健全な成長に寄与すべく取り組んでいる。</p> <p>○ また、公益財団法人広島県私立幼稚園連盟において監事として6年間、一般社団法人広島市私立幼稚園協会において理事及び監事として計19年間尽力した経歴もあり、幼児教育の振興と発展そして同2団体の発展と円滑な運営に尽力した。</p> <p>(学校法人所在地) 広島市南区翠二丁目3-1</p>

令和6年度広島県私立学校教育功労者表彰

学事課

<p>被候補者氏名 (年齢)</p>	<p>しがらき こうじ 信楽 晃仁 (63歳)</p>
<p>職</p>	<p>学校法人信楽学園理事長、同学園ひかり幼稚園長</p>
<p>功績概要</p>	<p>○ 信楽氏は、平成3年1月に学校法人信楽学園ひかり幼稚園に幼稚園教諭として就任し、以来、副園長を経験し、現園長及び理事長として、33年にわたって同園で地域に密着した幼児教育を展開している。</p> <p>○ 氏は、浄土真宗本願寺派の住職として信仰心が篤く、その誠実な人柄により地域住民に絶大な信頼を得ていることから、安楽寺の門信徒以外の幼児の入園申し込みが多く、地元の教育施設として中心的な役割を果たしている。</p> <p>○ 特に、宗教的情操教育を重視し、浄土真宗の教えを拠り所とする「まことの保育」を基礎として、和の心（仲良く助けあう心）、感謝と懺悔の心（ありがとう、すみませんと言える心）の啓培に努め、「みほとけさまの子ども」を育てる保育を建学の精神とし鋭意努力を重ね、多くの卒園児を送り出してきた。</p> <p>○ 公益財団法人広島県私立幼稚園連盟において広報委員として12年間、理事として7年間、評議員として4年間尽力し、加えてIT委員会を発足、委員長として2年間邁進し、現在の同団体のSNS環境の礎を築くのに多大な貢献をした。</p> <p>○ 一般社団法人呉市私立幼稚園協会において監事及び副理事長として計7年尽力し、同市私立保育協議会と合同で私立幼保採用登録協議会を立ち上げた実績を養成校から評価されている。</p> <p>○ 地域では、平成12年4月に就任した呉市立上山田小学校PTA会長として、吾妻小学校と上山田小学校の波瀾に富んだ統合を決着させたり、武道人として洗心道場を主宰し28年間武道教育と健康教育を実践したりと、熱い情熱で幼児教育に留まらない貢献を果たしてきた。</p> <p>(学校法人所在地) 呉市上山田町 2-28</p>